研究内容説明書

作成日：2025 年　11 月　1 日

研究協力のお願い

東京科学大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

小児近視眼における角膜曲率半径と調節麻痺下屈折値、眼軸長の関係に関する研究

１．研究の対象および研究対象期間

本研究の対象者は、2019 年～2023 年に当院近視外来を受診し、上記検査を実施された 3～15 歳の患者様です。およそ 1,000 名の診療情報が含まれます。

対象者には個別の同意をいただいておりませんが、本研究に利用される情報は匿名化され、個人が特定されることはありません。

２．研究目的・方法

本研究は、小児における近視の進行と角膜形状（角膜曲率半径）、屈折値（調節麻痺下の等価球面度数）、および眼軸長との関連を明らかにすることを目的としています。これにより、近視進行抑制治療におけるレンズ処方や眼疾患管理に役立つ基礎的情報を得ることを目指します。

３．研究期間

当院を受診した 3～15 歳の患者様の診療記録のうち、下記の項目を匿名化したうえで解析に使用します：

- 角膜曲率半径（R1, R2）
- 角膜屈折度（K 値）
- 調節麻痺下屈折値（等価球面度数）
- 眼軸長（Axial Length）
- 年齢、性別

この研究では診療情報を使用するのみであり、患者様への新たな診察・検査は一切行いません。

４．研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、患者様個人を特定できる情報（氏名、生年月日、住所など）はすべて削除し、匿名化したデータを使用します。

外部機関に情報が提供されることはありません。

収集されたデータは厳重に管理し、研究終了後は適切に破棄いたします。

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

６．研究組織

東京科学大学病院

研究責任者　眼科　助教　高橋　知成

７．お問い合わせ先

研究への参加を希望されない場合は、下記の窓口までその旨をお申し出ください。お申し出があった場合には、お客様の診療情報は研究に使用いたしません。

※お申し出がない場合でも、診療や今後の治療には一切影響いたしません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

担当者名:小林　知世(所属:眼科)

連絡先:東京科学大学病院 眼科(TEL: 03-3813-6111)

苦情窓口

東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547(対応可能時間帯:平日 9:00～17:00)